



CHUKAKU-SHI SUMMIT 2014 IN TAKAMATSU

中核市サミット2014 in 高松

持続可能性の先に灯す希望を求めて ～人口減少社会への対応～

— PROGRAM —



中核市市長会

■ 函館市	■ 旭川市	■ 青森市	■ 盛岡市	■ 秋田市	■ 郡山市	■ いわき市	■ 宇都宮市	■ 前橋市
■ 高崎市	■ 川越市	■ 船橋市	■ 柏市	■ 横須賀市	■ 富山市	■ 金沢市	■ 長野市	■ 岐阜市
■ 豊橋市	■ 岡崎市	■ 豊田市	■ 大津市	■ 豊中市	■ 高槻市	■ 枚方市	■ 東大阪市	■ 姫路市
■ 尼崎市	■ 西宮市	■ 奈良市	■ 和歌山市	■ 倉敷市	■ 福山市	■ 下関市	■ 高松市	■ 松山市
■ 高知市	■ 久留米市	■ 長崎市	■ 大分市	■ 宮崎市	■ 鹿児島市	■ 那覇市		

◆ごあいさつ

[中核市市長会会長]



豊橋市長
佐原 光一
(さはら こういち)

19回目のサミットを、まちの特色を生かしながら近隣市町との連携を図り、圏域全体の活性化に取り組まれている高松市で開催できますことを心から光榮に思います。

中核市は、地域の拠点都市としてふさわしいまちづくりを推進しているところですが、現在の人口急減・超高齢化の流れの中で、基礎自治体が多様かつ持続可能な行政サービスを提供していくためには、これまでの取組みの中で培ってきたノウハウや創造力をもって、地方の先導役としての役割を果たしていくことがより重要となっております。

このサミットで皆様とともに地域の活性化とさらなる地方分権に向けた議論を深め、地域主導のまちづくりを一丸となって進めるという力強いメッセージを示していきたいと考えております。

最後に、開催にあたり高松市をはじめ関係各位の多大なご尽力に感謝いたしますとともに、今後も真の分権型社会に向けて皆様とともに歩んでいく所存でありますのでご協力をお願いいたします。

[開催県知事]



香川県知事
浜田 恵造
(はまだ けいぞう)

「中核市サミット2014in高松」が開催されますことをお慶び申し上げますとともに、開催県の知事として、全国各地からお集まりの皆様を心から歓迎いたします。

さて、第30次地方制度調査会の提言を踏まえた「地方中枢拠点都市」という新たな枠組みが制度化され、新たな広域連携において、中核市は、地方中枢拠点都市として、圏域全体の経済成長のけん引役を期待されるなど、従来にも増してその役割がますます重要となっております。

このような中、中核市の市長が一堂に会し、地方分権改革の推進と中核市制度の充実強化を議論されることは、誠に意義深いことであると存じます。

本日のサミットが、地方分権の推進と、真に豊かで笑顔あふれる地域社会の実現に向けて、実り多いものとなりますよう祈念いたします。

[開催市市長]



高松市長
大西 秀人
(おおにし ひでと)

瀬戸の都・高松へようこそ！

ここ高松において、中核市の皆様をお迎えし「中核市サミット2014in高松」を開催できますこと、誠に光榮であり、開催市市長として、心より感謝申し上げます。

人口減少、少子・超高齢社会が現実となる中、われわれ中核市においては、引き続き、市民が住んでよかったと実感できる魅力あるまちづくりに、積極的に取り組んでいく必要があるものと存じております。

本市は、北は、日本で初めて国立公園に指定され、本年で80周年を迎える、瀬戸内海国立公園に面し、南は讃岐山脈を望む、風光明媚で温暖な都市でございます。

本サミットで、共通の諸課題について、皆様方と議論を深め、得られた成果を高松から、全国に発信することにより、地方分権改革の一層の推進を図ってまいりたいと存じております。

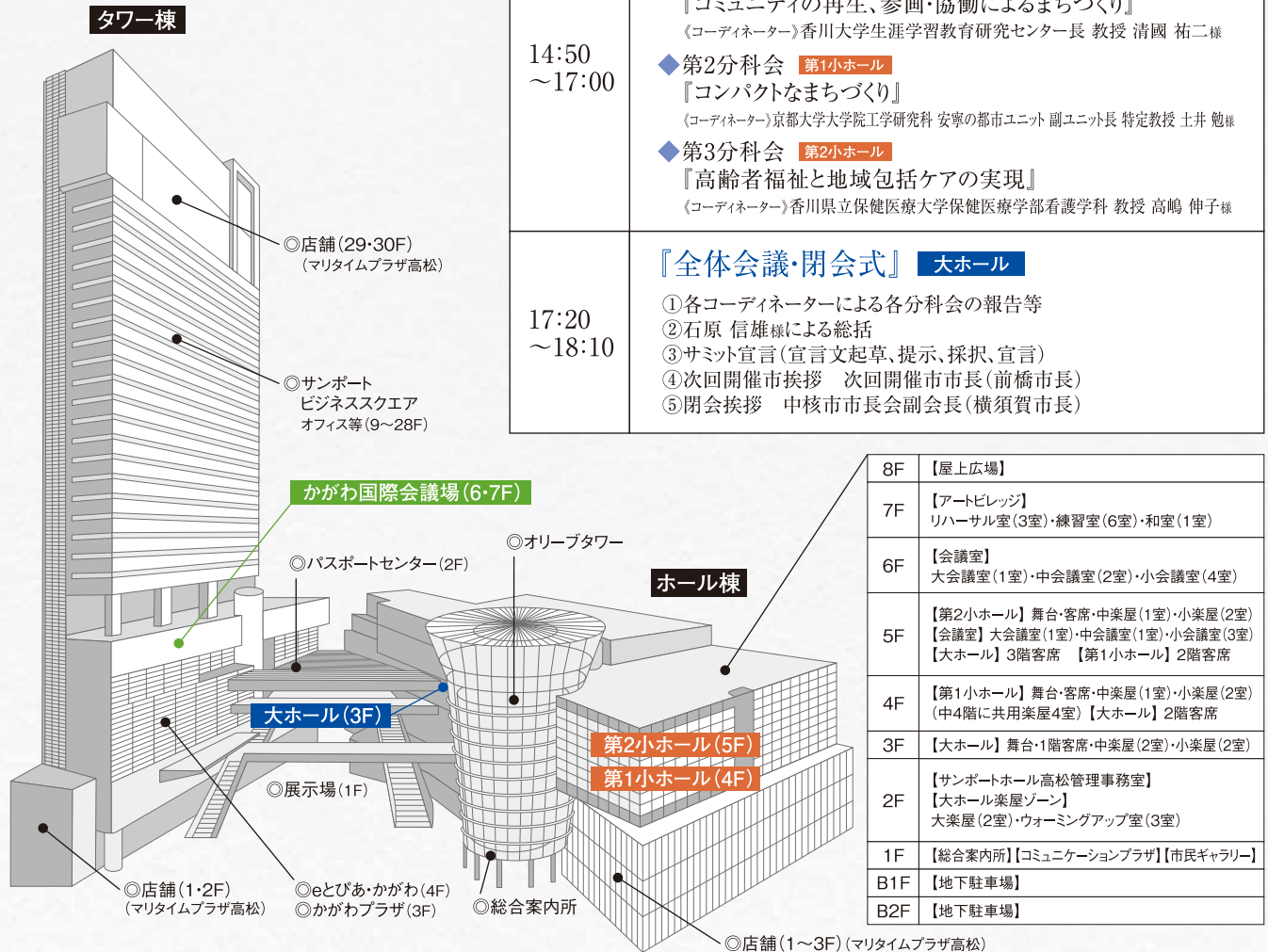
◆プログラム

会場／サンポートホール高松



【アクセス】

- JR高松駅から徒歩約3分
- ことでん高松築港駅から徒歩約5分
- 高松自動車道 高松中央ICより車で約20分
- 高松空港からことでん高松空港リムジンバス JR高松駅行きで約40分



時 間	内 容
13:00 ～13:30	『開会式』 大ホール ①主催者歓迎挨拶 中核市市長会会長(豊橋市長) ②開催市歓迎挨拶 開催市長(高松市長) ③来賓祝辞 ◇総務省自治行政局長 ◇香川県知事 ④講師・来賓紹介 [講 師] (一財)地方自治研究機構会長(元内閣官房副長官) 石原 信雄様 [来 賓] ◇総務省自治行政局 市町村課長 小宮 大一郎様 ◇香川県知事 浜田 恵造様 ◇香川県議会議長 宮本 欣貞様 ◇全国特例市市長会会長 服部 信明様 ◇中核市議会議長会会長 日高 義幸様 ◇全国市長会事務総長 荒木 慶司様 ◇指定都市市長会事務局長 鈴木 猛史様 ◇高松市議会副議長 小比賀 勝博様 ⑤コーディネーター紹介 ◇香川大学生涯学習教育研究センター長 教授 清國 祐二様 ◇京都大学大学院工学研究科 安寧の都市ユニット 副ユニット長 特定教授 土井 勉様 ◇香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科 教授 高嶋 伸子様 ⑥新規加入市挨拶 (枚方市長)
13:40 ～14:30	『基調講演』 大ホール “地方行政をめぐる最近の動向と中核市の課題” (一財)地方自治研究機構会長(元内閣官房副長官) 石原 信雄様
14:50 ～17:00	『分科会』 第1、2小ホール かがわ国際会議場 ◆第1分科会 かがわ国際会議場 『コミュニティの再生、参画・協働によるまちづくり』 《コーディネーター》香川大学生涯学習教育研究センター長 教授 清國 祐二様 ◆第2分科会 第1小ホール 『コンパクトなまちづくり』 《コーディネーター》京都大学大学院工学研究科 安寧の都市ユニット 副ユニット長 特定教授 土井 勉様 ◆第3分科会 第2小ホール 『高齢者福祉と地域包括ケアの実現』 《コーディネーター》香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科 教授 高嶋 伸子様
17:20 ～18:10	『全体会議・閉会式』 大ホール ①各コーディネーターによる各分科会の報告等 ②石原 信雄様による総括 ③サミット宣言(宣言文起草、提示、採択、宣言) ④次回開催市挨拶 次回開催市市長(前橋市長) ⑤閉会挨拶 中核市市長会副会長(横須賀市長)

8F	【屋上広場】
7F	【アートビレッジ】 リハーサル室(3室)・練習室(6室)・和室(1室)
6F	【会議室】 大会議室(1室)・中会議室(2室)・小会議室(4室)
5F	【第2小ホール】 舞台・客席・中楽屋(1室)・小楽屋(2室) 【会議室】 大会議室(1室)・中会議室(1室)・小会議室(3室) 【大ホール】 3階客席 【第1小ホール】 2階客席
4F	【第1小ホール】 舞台・客席・中楽屋(1室)・小楽屋(2室) (中4階に共用楽屋4室) 【大ホール】 2階客席
3F	【大ホール】 舞台・1階客席・中楽屋(2室)・小楽屋(2室)
2F	【サンポートホール高松管理事務室】 【大ホール楽屋ゾーン】 大楽屋(2室)・ウォーミングアップ室(3室)
1F	【総合案内所】 【コミュニケーションプラザ】 【市民ギャラリー】
B1F	【地下駐車場】
B2F	【地下駐車場】

◆講師・コーディネータープロフィール



基調講演 “地方行政をめぐる最近の動向と中核市の課題”

一般財団法人地方自治研究機構会長・
元内閣官房副長官

講師 **石原 信雄氏**

群馬県出身。52年東京大学法学部卒業。同年地方自治庁入庁。84年自治省事務次官。87年内閣官房副長官。歴代7人の総理を補佐。96年5月から中核市市長会相談役。著書に「現代地方財政運営論」「首相官邸の決断」「権限の大移動」など多数。

分科会

● 第1分科会 『コミュニティの再生、参画・協働によるまちづくり』



香川大学生涯学習教育研究
センター長 教授
【コーディネーター】

清國 祐二氏

大分県出身。広島大学大学院教育学研究科博士課程前期教育学専攻修了（学位：教育学修士）。鳥根大学教育学部 助教授、英国ランカスター大学 客員研究員を経て、02年に香川大学生涯学習教育研究センター 助教授に就任。07年に同センター教授兼センター長に就任し、現在に至る。

人口減少、少子・超高齢社会における都市の在り様を考えると、地域における「コミュニティの再生」は、その基盤整備につながる重要な課題であると認識している。

また、社会問題の複雑化・多様化や地域内での課題に対し、地域コミュニティそのものの持つ解決能力にも限界がある中、行政の役割や機能も大きく転換を図らなければならない。

市民や地域コミュニティ、NPOなど多様な主体が地域社会を支える「新しい公共」という考え方の下、行政のコーディネート力を高めつつ、住民自治の更なる充実を支援し、地域自らの自己決定と自己責任を尊重した、協働によるまちづくりの推進について、今後の展開を討論する。

● 第2分科会 『コンパクトなまちづくり』



京都大学大学院 工学研究科
安寧の都市ユニット 副ユニット長 特定教授
【コーディネーター】

土井 勉氏

76年名古屋大学大学院工学研究科修士課程修了。京都大学博士（工学）。技術士（建設部門）。土木学会特別上級技術者（調査計画分野）。京都市役所で都市計画の実務を経て、阪急電鉄で交通政策や沿線文化研究などを担当。04年4月神戸国際大学経済学部教授。10年10月から現職。専門は、総合交通政策とまちづくりの融合、都市の魅力研究、都市政策論など。

日本の都市は高度成長期を経て拡大を続け、政策的にも郊外の住宅地開発が進められてきたことで、低密度な市街地が郊外に薄く広がり、都市の拡散が進んできた。

こうした拡散型の都市構造の進展は、自動車への依存による環境負荷の増加や中心市街地の空洞化、郊外への人口流出を生み出し、これによる公共交通の衰退や公共交通サービスの空白地帯の拡大は、移動手段を持たない買い物難民の増加をもたすなど、様々な場面で、行政コストの増大と多くの弊害を招きかねず、ひいては地域全体としての魅力や活力の低下などを引き起こすことが懸念されている。

このため、人口減少や少子化、超高齢社会を見据えたまちづくり施策と適正な土地利用の促進、公共交通を基軸とした都市交通の形成を柱とし、相互に有機的に機能させることにより、30年、50年後においても、活力を失わず、市民が健康で生き生きと暮らせるコンパクトで持続可能なまちをつくることが求められている。

この分科会では、各市の問題の共有や取組状況、政策目標について情報交換を行い、今後の課題や方向性を探る。

● 第3分科会 『高齢者福祉と地域包括ケアの実現』



香川県立保健医療大学
保健医療学部 看護学科 教授
【コーディネーター】

高嶋 伸子氏

香川県内で看護師、助産師、保健師を経験し、県庁で施策化に関わり、専門学校教員や短期大学を経て04年4月現大学の教授となった。12年11月首都大学東京都市環境科学で高松市をフィールドとした「地方都市居住高齢者の健康づくりを支援する保健師機能に関する研究」で博士の学位を取得し、現在も研究を継続している。

急速な少子高齢化が進む中、全人口に占める高齢者の比率は年々上昇しており、全世帯に占める65歳以上の高齢者のみの世帯（単身・夫婦）の割合は、団塊の世代が75歳を迎える2025年には25%を超え、また、認知症高齢者が470万人となり、高齢者の12.8%を占めると予想されている。

そこで、全国の自治体においては、高齢者が認知症や介護が必要になっても、できる限り住み慣れた地域で尊厳を持ち自分らしく暮らせる仕組みである地域包括ケアの実現が急務となっている。

今後は、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいの五つのサービスを相互に連携し、高齢者の状態に合わせて、適切なサービスが受けられる体制の整備や、地域の人々が希望を持って暮らし続けることのできる地域づくりなどが課題となることから、各市の現状や課題及び取組について情報を共有し、今後の展開について討論する。

◆中核市市長会 市長プロフィール



〔函館市長〕

工藤 壽樹
(くどう としき)

1949年生まれ。北海道出身。73年早稲田大学第一法学部卒業。73年亀田市(現函館市)勤務。99年財務部長、03年企画部長を経て、06年助役。11年4月から現職(現在1期目)。13年5月から北海道市長会理事に就任。



〔旭川市長〕

西川 将人
(にしかわ まさひと)

1968年生まれ。旭川市出身。93年北海道大学工学部卒業。同年日本航空株式会社入社。99年退社。03年医療法人社団木々の会理事就任。06年退任。06年11月から現職(現在2期目)。全国市長会副会長、北海道市長会副会長。



〔青森市長〕

鹿内 博
(しかない ひろし)

1948年生まれ。青森市出身。67年青森県立青森高等学校卒業。68年青森県新生活協議会勤務。82年青森市議会議員(3期9年)。91年青森県議会議員(5期18年)。09年4月から現職(現在2期目)。現在、青森県市長会会長、全国雪対策連絡協議会会長、中核市市長会監事。



〔盛岡市長〕

谷藤 裕明
(たにふじ ひろあき)

1950年生まれ。盛岡市出身。78年早稲田大学教育学部卒業。78年有限会社橋市倉庫専務取締役。91年岩手県議会議員当選(3期12年)。01年岩手県議会議員。03年から現職(現在3期目)。現在、岩手県市長会会長。



〔船橋市長〕

松戸 徹
(まつと とおる)

1954年生まれ。八千代市出身。東京理科大学理学部物理学科卒業。78年船橋市勤務。02年秘書課長、07年市長公室長を経て、09年10月副市長就任。13年7月から現職(現在1期目)。



〔柏市長〕

秋山 浩保
(あきやま ひろやす)

1968年生まれ。柏市出身。92年筑波大学第三学群国際関係学類卒業。92年ベインアンドカンパニー入社。95年株式会社フォーシーズ常務取締役就任。97年以降経営コンサルタントとして、様々な会社の役員を歴任。09年11月から現職(現在2期目)。現在、全国地方卸売市場協議会会長、柏レイソル後援会名誉会長。



〔横須賀市長〕

吉田 雄人
(よしだ ゆうと)

1975年生まれ。横須賀市出身。99年早稲田大学政治経済学部卒業。同年アクセンチュア株式会社入社。02年アクセンチュア株式会社退社。03年横須賀市議会議員(2期)。06年早稲田大学大学院修士課程修了。09年7月から現職(現在2期目)。中核市市長会副会長。



〔富山市長〕

森 雅志
(もり まさし)

1952年生まれ。富山市出身。76年中央大学法学部卒業。95年富山県議会議員、2期を経て、02年1月から旧富山市長(1期)。05年4月から現職(現在3期目)。現在、全国市長会相談役、富山県市長会副会長、内閣府地方分権有識者会議議員。



〔豊中市長〕

浅利 敬一郎
(あさり けいいちろう)

1945年生まれ。69年大阪教育大学卒業。同年寝屋川市立中学校教諭として勤務。大阪府教育委員会事務局義務教育課長、同教育振興室副理事などを経て、00年、豊中市教育委員会教育長に就任。06年5月から現職(現在3期目)。現在、公益社団法人日本水道協会副会長、全国流域下水道促進協議会連合会長、大阪府市長会理事。



〔高槻市長〕

濱田 剛史
(はまだ たけし)

1964年生まれ。大阪府出身。87年大阪経済法科大学法学部卒業。93年司法試験合格。96年東京地方検察庁検事、大阪地方検察庁検事などを経て、02年検事退官。同年弁護士登録。11年5月から現職(現在1期目)。



〔枚方市長〕

竹内 脩
(たけうち おさむ)

1949年生まれ。大阪府出身。72年京都大学法学部卒業。同年大阪府庁に入庁し、政策調整室長、大阪府教育長などを経て、07年9月から現職(現在2期目)。現在、大阪府市長会副会長、日本非核宣言自治体協議会副会長、大阪府後期高齢者医療広域連合長。



〔東大阪市長〕

野田 義和
(のだ よしかず)

1957年生まれ。東大阪市出身。75年大阪府立花園高等学校卒業。87年東大阪市民議会議員(5期)。07年10月から現職(現在2期目)。現在、全国市長会理事。



〔下関市長〕

中尾 友昭
(なかお ともあき)

1949年生まれ。下関市出身。79年中央大学法学部卒業。01年東亜大学大学院総合学術修了。68年下関唐戸魚市場(株)入社。90年取締役就任。99年下関市議会議員、03年山口県議会議員などを経て、09年3月から現職(現在2期目)。



〔高松市長〕

大西 秀人
(おおにし ひでと)

1959年生まれ。香川県出身。82年東京大学法学部卒業。同年自治省入省。89年岐阜県総務課長、95年自治省大臣官房総務課課長補佐、同年北海道財政課長、06年総務省情報通信政策局地域放送課長などを経て、07年5月から現職(現在2期目)。現在、全国市長会社会文教委員会委員長、(財)日本都市センター理事長。



〔松山市長〕

野志 克仁
(のし かつひと)

1967年生まれ。松山市出身。90年岡山大学経済学部卒業。同年南海放送(株)にアナウンサーとして入社、アナウンス室マネージャー(部長格)を経て、10年10月退社。10年11月から現職(現在1期目)。現在、全国市長会副会長・相談役。



〔高知市長〕

岡崎 誠也
(おかざき せいや)

1953年生まれ。高知県出身。75年青山学院大学経済学部卒業。同年、高知市勤務。03年4月産業振興部副部長兼産業政策課長。03年11月から現職(現在3期目)。現在、全国市長会理事・相談役・国民健康保険対策特別委員長、四国市長会副会長、高知県市長会会長、国民健康保険中央会会長。



〔秋田市長〕

穂積 志
(ほづみ もとむ)

1957年生まれ。秋田市出身。82年成蹊大学法学部卒業。87年秋田市議会議員当選(1期)。95年秋田県議会議員当選(4期)。09年4月から現職(現在2期目)。現在、全国市長会相談役、秋田県市長会会長。



〔郡山市長〕

品川 万里
(しながわ まさと)

1944年生まれ。白河市出身。67年東京大学法学部卒業。同年郵政省入省。93年東北郵政局長、96年貯金局長、97年放送行政局長、99年郵政審議官(国際担当)。00年大阪大学客員教授、03年NTTデータ代表取締役副社長、05年法政大学IT研究センター学術担当教授、09年法政大学教授、13年NPO法人日本幼児教育振興会理事、13年4月から現職(現在1期目)。



〔いわき市長〕

清水 敏男
(しみず としお)

1963年生まれ。いわき市出身。87年日本大学法学部卒業。92年からいわき市議会議員(2期)。94年全国若手市議会議員の会設立、初代会長。99年から福島県議会議員(4期)。13年9月28日から現職(現在1期目)。



〔宇都宮市長〕

佐藤 栄一
(さとう えいいち)

1961年生まれ。宇都宮市出身。85年明治大学法学部法律学科卒業。社団法人宇都宮青年会議所理事長、社団法人日本青年会議所副会頭などを経て、04年11月から現職(現在3期目)。現在、全国市長会副会長、栃木県市長会会長。



〔金沢市長〕

山野 之義
(やまの ゆきよし)

1962年生まれ。金沢市出身。87年慶応義塾大学文学部卒業。90年ソフトバンク株式会社入社。94年ソフトバンク株式会社退社。95年より金沢市議会議員(4期)。10年12月から現職(現在1期目)。現在、石川県市長会会長。



〔長野市長〕

加藤 久雄
(かとう ひさお)

1942年生まれ。長野市出身。65年早稲田大学第一政治経済学部卒業。同年内田産業(株)入社。67年(株)本久入社。85年(株)本久代表取締役社長。07年長野商工会議所会頭、長野県商工会議所連合会会長。09年(株)本久ホールディングス代表取締役会長兼社長。13年11月から現職(現在1期目)。



〔岐阜市長〕

細江 茂光
(ほそえ しげみつ)

1948年生まれ。岐阜市出身。71年京都大学法学部卒業。同年三井物産株式会社に入社。アメリカ(シアトル、ロサンゼルス)12年間勤務、物資開発本部サービス事業開発部長などを歴任。02年三井物産株式会社を退社し、同年2月から現職(現在4期目)。現在、全国市長会理事・相談役。



〔豊橋市長〕

佐原 光一
(さはら こういち)

1953年生まれ。豊橋市出身。76年東京大学工学部航空学科卒業。同年運輸省(現国土交通省)入省。86年外務省に出向し在ブラジル日本国大使館一等書記官、99年パナマ共和国政府派遣道などを歴任。02年国土交通省東北地方整備局港湾空港部長、07年中部地方整備局副局長。08年11月から現職(現在2期目)。中核市長会会長。



〔姫路市長〕

石見 利勝
(いわみ としかつ)

1941年生まれ。兵庫県出身。65年京大文学部理学部卒業。73年東京工業大学理工学研究科博士課程を修了。77年東京工業大学助手を経て、建設省建築研究所研究員。87年筑波大学助教授。94年立命館大学教授。98年同政策科学部長。03年4月から現職(現在3期目)。



〔尼崎市長〕

稲村 和美
(いなむら かずみ)

1972年生まれ。奈良県出身。98年神戸大学大学院法学研究科修士課程修了。98年神楽石野証券(現SMBCフレンド証券)入社。03年兵庫県議会議員(2期)。10年12月から現職(現在1期目)。



〔西宮市長〕

今村 岳司
(いまむら たけし)

1972年生まれ。兵庫県出身。97年京都大学法学部卒業。97年リクルート入社。99年西宮市議会議員(4期)。14年5月から現職(現在1期目)。



〔奈良市長〕

仲川 げん
(なかがわ げん)

1976年生まれ。奈良県出身。98年立命館大学経済学部卒業。同年国際石油開発帝石株式会社入社。02年NPO法人奈良NPOセンター職員。05年同センター事務局長就任。07年同センター常務理事就任。09年7月から現職(現在2期目)。中核市長会副会長。



〔久留米市長〕

檜原 利則
(ならはら としのり)

1948年生まれ。福岡県出身。71年西南学院大学商学部卒業。同年久留米市勤務。00年環境部長、03年総務部長、07年副市長を経て、10年2月から現職(現在2期目)。現在、福岡県市長会会長。



〔長崎市長〕

田上 富久
(たうえ とみひさ)

1956年生まれ。五島市出身。80年九州大学法学部卒業。同年、長崎市勤務。02年観光振興課主幹、04年統計課長。07年4月から現職(現在2期目)。現在、日本非核宣言自治体協議会会長、平和市長会議副会長、全国市長会相談役、長崎県市長会会長。



〔大分市長〕

釘宮 磐
(くぎみや ばん)

1947年生まれ。大分市出身。71年明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業。同年東京都社会福祉協議会に勤務。87年大分県議会議員(2期)、92年参議院議員(1期)。00年衆議院議員を経て、03年4月から現職(現在3期目)。現在、全国市長会相談役、九州市市長会会長、大分県市長会会長。



〔宮崎市長〕

戸敷 正
(とじき ただし)

1952年生まれ。宮崎市出身。74年宮崎県立農科大学校指導学部卒業。同年旧佐土原町役場に入室。98年旧佐土原町長(2期)を経て、10年2月から現職(現在2期目)。現在、宮崎県市長会会長。

中核市サミット2014 in 高松



〔川越市長〕

川合 善明
(かわい よしあき)

1950年生まれ。川越市出身。73年早稲田大学政治経済学部卒業。77年東京教育大学(現筑波大学)文学部卒業。79年弁護士登録。東京弁護士会副会長等を経て、09年2月から現職(現在2期目)。

〔大津市長〕

越 直美
(こし なおみ)

1975年生まれ。大津市出身。00年北海道大学法学部卒業、司法試験合格。01年北海道大学大学院法学研究科修士課程修了。02年から弁護士として日米の法律事務所勤務。09年ハーバード大学ロースクール修了。12年1月から現職(現在1期目)。

〔福山市長〕

羽田 皓
(はだ あきら)

1944年生まれ。福山市出身。68年青山学院大学法学部卒業。同年福山市に勤務。90年監理課長、94年児童部長、99年同和对策部長、01年総務部長を経て、04年助役就任。同年9月から現職(現在3期目)。

〔高崎市長〕

富岡 賢治
(とみおか けんじ)

1946年生まれ。高崎市出身。69年東京大学法学部卒業。同年文部省入省。81年外務省在フランス日本国大使館一等書記官、96年文部省総務審議官、98年同省生涯学習局長、00年国立教育研究所所長、01年財団法人日本国際教育協会理事長。03年群馬県立女子大学学長を経て、11年5月から現職(現在1期目)。

〔豊田市長〕

太田 稔彦
(おおた としひこ)

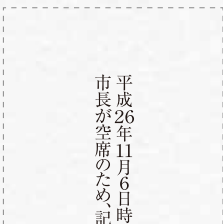
1954年生まれ。豊田市出身。77年早稲田大学商学部卒業。77年豊田市採用。経営政策本部長、総合企画部長を経て、12年2月から現職(現在1期目)。14年6月から東海市長会会長、愛知県市長会会長に就任。

〔倉敷市長〕

伊東 香織
(いとう かおり)

1966年生まれ。東京大学法学部卒業後、郵政省入省。93年米国ハーバード大学ロースクール修士課程修了。栃木県日光郵便局長、総理府国際平和協力本部事務局参事官補佐、総務省インターネット戦略企画室長補佐を経て、03年倉敷市総務局長、04年倉敷市収入役。08年5月から現職(現在2期目)。中核市市長会監事。

〔那覇市長〕



平成26年11月6日時点で、市長が空席のため記載しておりません。

〔前橋市長〕

山本 龍
(やまもと りゅう)

1959年生まれ。草津町出身。85年早稲田大学商学部卒業。95年から群馬県議会議員(3期)、09年から群馬県議会議員(1期)、12年2月から現職(現在1期目)。

〔岡崎市長〕

内田 康宏
(うちだ やすひろ)

1952年生まれ。岡崎市出身。75年日本大学法学部政治経済学科卒業。米国インディアナ州立大学で政治学を専攻。87年より愛知県議会議員(7期)、06年同議会議長を経て、12年10月から現職(現在1期目)。

〔和歌山市長〕

尾花 正啓
(おばな まさひろ)

1953年生まれ。和歌山県出身。80年東京大学工学部卒業。同年和歌山県庁に入庁。08年県土整備部道路局長、11年県土整備部技監、12年県土整備部長を経て、13年11月退職。14年8月から現職(現在1期目)。

〔鹿児島市長〕

森 博幸
(もり ひろゆき)

1949年生まれ。鹿児島市出身。74年横浜国立大学商学部卒業。同年鹿児島市に勤務。01年総務部長、04年総務局長を経て、同年12月から現職(現在3期目)。現在、全国市長会相談役、鹿児島県市長会会長。



CHUKAKU-SHI SUMMIT 2014 IN TAKAMATSU

■主催／中核市市長会・高松市

■後援／総務省・香川県・全国市長会・全国市議会議長会・中核市議会議長会

【お問い合わせ】

中核市市長会高松市サミット開催事務局(高松市市民政策局政策課内)

〒760-8571 高松市番町一丁目8番15号

TEL 087-839-2135 FAX 087-839-2125